

保育理念や保育目標は入園のしおりやパンフレット、重要事項説明書に明記されています。入園時には重要事項説明書の内容を丁寧に説明し、利用者がその内容を理解し同意して預けるという体制を整えています。苦情等の相談窓口がある旨も書かれていて玄関にも掲示されていますが、今回の利用者アンケートによると「はい」の回答が他と比べて低いことから周知方法や掲示場所などの工夫や改善が必要と思われます。

「保健計画」を作成し、子供の健康状態や発育・発達状態、疾病を把握して安全な保育に努めています。嘱託医と連携し内科検診や歯科検診を年2回行う際には、事前に問診票を利用して保護者のからの質問や悩みを聴き取り嘱託医に相談して丁寧に対応し信頼関係の構築に努めています。「健康観察表」を利用して日々子ども達の健康状態を把握、感染対策として発生の予防に努めて消毒を徹底し、発生時には掲示やメールを使い注意喚起を行い拡大予防に取り組んでいます。

年齢に応じた保育環境の整備に取り組み、安心して安全な環境を通して、生活や遊びが豊に展開するように努めています。職員による手作り玩具や木製の絵本棚・玩具棚などが子どもの目線に合わせて設置されています。年齢に合わせているだけでなく、個別の成長や興味関心のある物を保育者が察知して用意し、子供一人ひとりの発達や成長に即した遊びが展開される事で保育目標の実現に繋がっていくと思われま

す。成長の過程で生じる子ども同士のトラブルには、双方の気持ちを大切に個々の様子を見極めて対応し、年齢によっては子供同士で解決できるように見守り援助しています。朝・夕の合同保育の時間帯も異年齢との時間を有意義で互いに他児を思いやる気持ちや敬う心、憧れを抱き挑戦する心が自然と育まれる事を目標として保育にあたっています。(現状は、コロナ渦で合同保育の時間は必要最低限に抑えられています。)

最寄り駅から5分と近く、駐車場も完備されている為保護者の利便性が高いと思われま

す。近隣には様々な特徴がある公園に恵まれ、積極的に活用して自然物や自然事象に触れる機会が多くあります。年齢や目的に応じて季節の移り変わりを五感で感じられるような日々の計画を組み立っています。地域性を活かして散歩の行き帰りの際には交通ルールの指導や地域の方々との挨拶、マナー等身につくように配慮されています。また、各保育室には季節感あふれる子ども達の作品が飾られています。

保育園利用の家庭や地域の子育て家庭の、子育て支援に取り組んでいます。保護者参加の行事はコロナ対策を取りつつ開催して保護者と共に子どもの成長を喜び合い実感しています。普段から連絡帳・ブログ・園だより・クラスだより等を使い園での子どもの様子を伝え保護者が安心して仕事に携われるよう配慮している。保護者の相談には丁寧に対応をし、希望があれば時間を作って面談を行い、子育ての役立つ情報を園だより増刊号として発行しています。地域支援事業として「ポコアポコ」を開催し、育児相談や離乳食の相談・独自保育の体験や年齢に合わせた遊びの展開等伝えてい

ます。園長は年に2回全ての職員と個別の面談を行い、職員の想いを聴き取り、気になる事、改善が望まれる事があれば伝えてい

(学) 有馬学園

ソレイユナーサリー八千代台

園長 有馬和貴子